

# 株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第61期第2四半期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）における事業の概況につきまして、ご報告いたします。

## ●事業の概況

当第2四半期連結結果計期間における我が国経済は、懸念されていましたが消費税率引き上げに伴う需要の反動は一時的なものであり、輸出企業を中心とした設備投資や賃金の増加、雇用の拡大から、緩やかな回復基調が見えはじめましたが、今夏の天候不順の影響等もあり、個人消費が伸び悩み、徐々に景気回復の足取りが重い状態となってきました。景気の先行きに関しましては、為替要因に伴う輸入資源価格の高止まりが中小企業や個人消費に影響を与えることも懸念され、慎重な見通しが必要な状況となっております。

このような状況下、当社グループは、「創エネ・省エネ・蓄エネ」「安心・安全」「リニューアル」をキーワードとした営業活動を積極的に推進するとともに事業収益改善に向けた取り組みを引き続き推進してまいりました。

このような事業環境下、「再生可能エネルギー固定価格買取制度」の買取価格の引き下げの影響による売上減も予想しておりましたが、太陽光発電システム関連商材の売上は小幅な減少に留まり、設備投資や建設投資の拡大基調から全てのセグメントで前期を上回る売上高となりました。

この結果、当第2四半期連結結果計期間における連結成績は、売上高312億73百万円（前年同四半期比3.6%増）、経常利益16億2百万円（前年同四半期比29.3%増）、四半期純利益は、固定資産売却益として特別利益61百万円を計上し、9億75百万円（前年同四半期比44.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

### （電設資材）

前期末の消費税増税駆込の反動もあって、エアコンの販売や住宅照明が前年同期を下回り、太陽光発電システムを中心とした商材は、固定価格買取制度の買取価格引き下げの影響から前年同期を下回りましたが、予想以上の水準での売上となりました。また、配線材や配管材も前期を上回り、引き続き物件受注売上が好調に推移しました。この結果、売上高は164億62百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

### （産業システム）

機器制御は、輸出企業を中心とした主要顧客の設備投資が持ち直し前期比増の売上高となりました。設備システムは、前期にあった火力発電所等への売上の反動から、前期比大幅減の売上高となりました。情報システムは、学校関係の案件が好調に推移し前期比増の売上高となりました。この結果、売上高は56億21百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

### （施工）

建設資材工事は、引合い案件が活発に推移し、受注高も伸び、売上高が前期を大きく上回りました。総合建築工事は、建築案件の期首受注残が少なかったことが影響し、工事進捗高が低調でしたが、太陽光発電システムの直需受注工事が好調に推移し、ほぼ横ばいの売上高となりました。

コンクリート圧送工事については、新規建設需要が増加し前期比増の売上高となりました。この結果、売上高は63億92百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。

### （土木建設機械）

土木建設機械は、建設工事案件の増加から需要が活発化しており、新車・中古車販売、メンテナンスサービス、レンタル事業が好調に推移したことから、前期を上回る売上高となりました。この結果、売上高は25億55百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

### （メガソーラー発電）

「再生可能エネルギー固定価格買取制度」に基づき東京電力株式会社に電力供給している栃木県内4ヶ所のメガソーラー発電施設における発電量は、今夏の天候不順の影響が多少あったものの概ね順調に推移しました。この結果、売上高は2億41百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

## 平成27年3月期 第2四半期株主通信

（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

 藤井産業株式会社

  
CODE : 9906

# 財務諸表等

## ■ 貸借対照表の要旨 (連結)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成25年9月30日現在)	当第2四半期 (平成26年9月30日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	24,217	26,111	29,329
固定資産	10,290	10,004	9,962
有形固定資産	6,980	6,494	6,630
無形固定資産	143	111	128
投資その他の資産	3,166	3,398	3,204
資産合計	34,508	36,115	39,291
<b>負債の部</b>			
流動負債	17,503	17,406	21,533
固定負債	1,422	1,413	1,363
負債合計	18,925	18,820	22,897
<b>純資産の部</b>			
株主資本	14,077	15,568	14,843
その他の包括利益累計額	355	486	379
少数株主持分	1,150	1,240	1,171
純資産合計	15,582	17,294	16,394
負債・純資産合計	34,508	36,115	39,291

## ■ 貸借対照表の要旨 (単体)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成25年9月30日現在)	当第2四半期 (平成26年9月30日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	19,752	21,270	24,170
固定資産	7,024	6,811	6,857
有形固定資産	4,719	4,336	4,429
無形固定資産	132	100	116
投資その他の資産	2,172	2,375	2,312
資産合計	26,777	28,082	31,028
<b>負債の部</b>			
流動負債	14,169	14,161	17,786
固定負債	974	986	997
負債合計	15,143	15,147	18,784
<b>純資産の部</b>			
株主資本	11,491	12,706	12,079
評価・換算差額等	142	228	164
純資産合計	11,633	12,934	12,244
負債・純資産合計	26,777	28,082	31,028

## ■ 損益計算書の要旨 (連結)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売上高	30,195	31,273	68,225
売上原価	25,705	26,321	58,060
売上総利益	4,489	4,951	10,165
販売費及び一般管理費	3,454	3,632	7,391
営業利益	1,035	1,319	2,773
営業外収益	248	338	481
営業外費用	45	55	95
経常利益	1,239	1,602	3,159
特別利益	2	61	3
特別損失	-	5	352
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,242	1,658	2,811
法人税、住民税及び事業税	※ 533	※ 620	1,370
法人税等調整額	※ -	※ -	△ 129
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	708	1,038	1,570
少数株主利益	35	62	78
四半期(当期)純利益	673	975	1,491

## ■ 損益計算書の要旨 (単体)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売上高	24,164	25,099	54,813
売上原価	20,706	21,310	46,933
売上総利益	3,458	3,788	7,879
販売費及び一般管理費	2,661	2,812	5,707
営業利益	796	976	2,172
営業外収益	232	347	418
営業外費用	36	49	81
経常利益	992	1,274	2,509
特別利益	-	61	-
特別損失	-	5	282
税引前四半期(当期)純利益	992	1,331	2,226
法人税、住民税及び事業税	※ 414	※ 462	1,124
法人税等調整額	※ -	※ -	△ 116
四半期(当期)純利益	578	869	1,218

# 業績の推移 (連結)

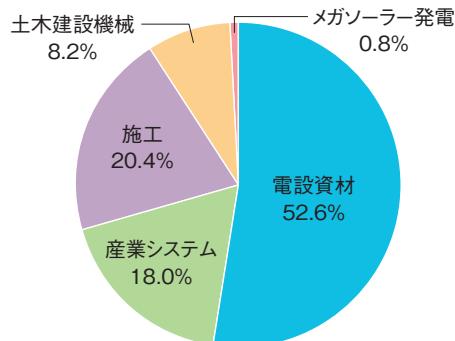
## ■ キャッシュ・フロー計算書の要旨 (連結) (単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期 (平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで)	前 期 (平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,016	641	3,241
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 295	△ 7	△ 545
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 130	△ 266	△ 612
現金及び現金同等物の 増・減 (△) 額	2,590	367	2,083
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	5,289	7,372	5,289
現金及び現金同等物の 四半期末 (期末) 残高	7,879	7,740	7,372

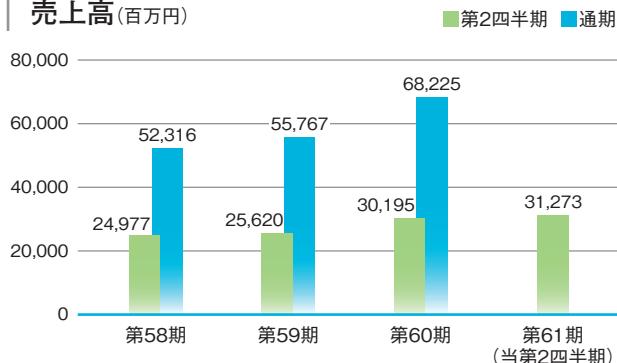
## ■ セグメント別売上高 (連結) (単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで)	当第2四半期 (平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで)	前 期 (平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで)
電 設 資 材	16,106	16,462	36,152
産業システム	5,436	5,621	12,349
施 工	5,975	6,392	13,844
土木建設機械	2,437	2,555	5,455
メガソーラー発電	240	241	422
合 計	30,195	31,273	68,225

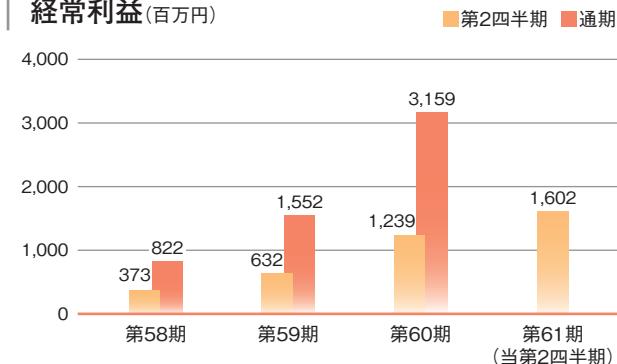
### 売上高構成比 (当第2四半期)



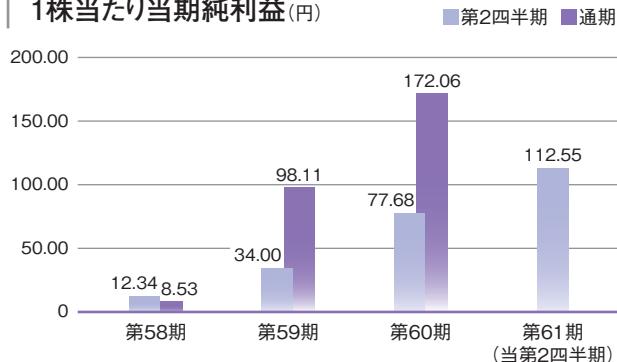
### 売上高 (百万円)



### 経常利益 (百万円)



### 1株当たり当期純利益 (円)



## ■ 会社概要 (平成26年9月30日現在)

商号	藤井産業株式会社 (Fujii Sangyo Corporation)
本社	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地41番地3 ☎028-662-6060 (代表)
URL	http://www.fujii.co.jp
設立年月日	昭和30年12月27日
資本金	1,883百万円
従業員数	592名 (契約・パート134名含む)

## ■ 株式の概要 (平成26年9月30日現在)

発行済株式総数	10,010,000株
1単元の株式数	100株
株主数	873名

## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	3月31日
	その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座口座管理機関	☎103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	☎103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当 金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金の お支払	上記取扱店に加え、みずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」の 郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店 をご利用ください。 特別口座では、単元未満株式の買取・買増 以外の株式売買はできません。証券会社等に 口座を開設し、株式の振替手続を行って いただく必要があります。	

## 公告方法 電子公告 (http://www.fujii.co.jp)

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

## 上場株式配当等の支払に関する通知書について

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

## ホームページのご案内

<http://www.fujii.co.jp>

当社ホームページは企業情報はもちろん、最新のIR情報がご覧になれます。ぜひアクセスしてください。



トップページ



IRページ